

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム『ゆう』

(ユニット名)

1階

記入者(管理者)

氏名

秦 珠美

評価完了日

平成 19 年 11 月 6 日

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月20日

【評価実施概要】

事業所番号	3870201294		
法人名	医療法人 かとう内科		
事業所名	都市型グループホーム『ゆう』		
所在地	今治市立花町2丁目9-35 (電話) 0898-25-6777		
管理者	秦 珠美		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年11月20日	評価確定日	平成19年12月20日

【情報提供票より】 (平成19年10月1日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成18年3月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	16人, 非常勤 0人, 常勤換算 14.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 350 円
	夕食	500 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3)利用者の概要 (平成19年10月1日現在)			
利用者人数	18 名	男性 2 名	女性 16 名
要介護1	4 名	要介護2	5 名
要介護3	3 名	要介護4	5 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85.5 歳	最低 76 歳	最高 94 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>昼食後、居室でテレビを観る方や外の景色を眺めながらラジオを聞いておられる方、昼食の片づけをされている方等がうかがえた。                  献立表を作成し、栄養士に見ていただくようにされている。いろいろな食材が摂取できるよう工夫されたり、食欲を高められるよう彩り等にも配慮をされている。夜間も自由にお茶を飲むことができるよう、水筒を居室に置かれて方もあった。                  介護計画についてのモニタリングを2ヶ月に1回行い、毎日、介護計画に沿った支援が来ているかチェック表で確認をされている。退院時や嚔下状態の低下時等、利用者の状態に変化のあるような時には随時見直しを行っておられる。</p>
--

【質向上への取組状況】

<p><b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・前回の評価を受け、外出の機会を増やし、又、利用者とゆっくり接することにも努められた。</p>
<p><b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・自己評価を職員個々で作成し、ケアマネージャーの方がまとめられた。</p>
<p><b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</b></p> <p>・会議時、利用者の生活状況や行事についての説明をされたり、「地域との交流」について出席いただいた方、一人ひとりから意見をいただけるようすすめておられる。民生委員の方から地域行事等の情報をいただいたり、ご家族からも事業所に対する感謝の声をいただいた。</p>
<p><b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</b></p> <p>・「ゆうだより」には、写真を多く掲載し、外出時の様子等を伝えておられる。又、利用者個々の連絡は、ご家族の来訪時や電話で伝えておられる。ご家族の来訪時に職員は、意見や要望を出していただけるよう働きかけておられる。</p>
<p><b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b></p> <p>・散歩時、近所の方とおしゃべりされたり、野菜等をいただくこともある。事業所で作ったお寿司をお返しに持っていかれる等、近所の方とお付き合いをされている。</p>

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			昨年度の外部評価で指摘を受け、改善し事業所独自の理念をつくりあげている。		
			(外部評価)		
			「穏やかな雰囲気作り」や「残存機能を活かせる支援」「利用者の希望に沿う支援」を理念に揚げ、利用者の希望として、地域の中で暮らすことを支援できるよう努めておられる。		さらに、「地域密着型サービス」を提供する事業所として、地域の中でどのようなことを目指していくのかということをおこの機会に話し合ってみてはどうだろうか。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			理念を玄関に掲示し、介護計画を作成する際にも、理念を意識し作成に努めておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族に対しては出来ているとおもいますが、地域の人に対しては出来ていないと思う。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 1、通勤時、散歩中の挨拶。2、近所の方から、花や野菜をもらったり、こちらからお寿司や畑の収穫物、旅行でのお土産を持って行っている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 幼稚園、中学、高校への運動会や文化祭の見学、地域での盆踊りに参加している。  (外部評価) 散歩時、近所の方とおしゃべりされたり、野菜等をいただくこともある。事業所で作ったお寿司をお返しに持っていかれる等、近所の方とお付き合いをされている。		今後、事業所では、利用者とともに地域の「住民センター」での催し等にも参加し、地域の方達とさらに交流を深めていきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 日々の業務でいっばいで、なかなか取り組めていない。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価を真摯に受け止め、改善に取り組んでいる。  (外部評価) 自己評価を職員個々で作成し、ケアマネージャーの方がまとめられた。前回の評価を受け、外出の機会を増やし、又、利用者とゆっくり接することにも努められた。		さらに、自己評価を作成する際に事業所自身で気付かれたことが、質の向上への最大の起点でもあるので、評価の仕組みを十分に活かすことができるよう、計画的な取組みが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			活かしていると思う		
			(外部評価)		
			会議時、利用者の生活状況や行事についての説明をされたり、「地域との交流」について出席いただいた方、一人ひとりから意見をいただけるようすすめておられる。民生委員の方から地域行事等の情報をいただいたり、ご家族からも事業所に対する感謝の声をいただいた。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			市町村の担当者の訪問や研修への参加などできることはしている。		
			(外部評価)		
			運営推進会議時、事業所の活動に対しての感想や書類等について注意する点等アドバイスをいただいた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			順番に学ぶ機会を作っている。現在、成年後見制度に1人該当者あり。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			管理者を中心に職員全員が高齢者虐待防止関連法についてパンフレットをみたり研修に行ったりして勉強を促している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 実施している		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 実施している		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 『ゆうだより』を年3回発行、その他イベントのお知らせ等も家族へ連絡、はがきを出し参加を促している。個々の金銭管理や健康状態については、その都度連絡しているが職員の移動についての報告はしていない。		個々の定期的な近況報告ができるよう検討中
			(外部評価) 「ゆうだより」には、写真を多く掲載し、外出時の様子等を伝えておられる。又、利用者個々の連絡は、ご家族の来訪時や電話で伝えておられる。		さらに、事業所では、毎月、ご本人の体調や様子を報告できるような個別の便りも作っていきたくて考えておられた。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 2ヶ月に1回の運営推進会議に順番に出席してもらい、色々な意見を聞いている。		
			(外部評価) ご家族の来訪時に職員は、意見や要望を出していただけるよう働きかけておられる。		今後も、「お世話になっているので言い難い」ご家族の心情を踏まえ、事業所のさらなる工夫でご家族から意見をいただけるような機会を増やしていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月に1回カンファレンスをし意見交換をしている		カンファレンスで全員の意見を聞き、問題に対処している。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 完全ではないが、出来る限り勤務調整に努めている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 他のユニットの利用者とも馴染みの関係を持つよう、普段から声掛け等で交流をもち移動があってもダメージを少なくするよう配慮している。		
			(外部評価) 職員が交替したような場合でも、利用者とはゆっくりお話しをされることで関係性を作るよう努めておられる。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 順次、研修会に参加している。		常時1～2人の研修参加の徹底と報告会も必要かと思う
			(外部評価) 介護を行うことがはじめての職員は、法人内のデイケアで介護技術を学ぶ機会を作っておられる。職員は、外部研修に積極的に参加されている。又、事業所内でも利用者の体調や状態、支援について課題が生じた場合、勉強会を開催されている。		事業所では、さらに職員が集まり話し合うような機会を増やしていきたいと考えておられる。さらに、チームケアの充実から事業所の質の向上を目指していかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) お月見会で他のグループホームに訪問させて頂いた。勉強会に参加するよう指示を受けている。		入居者同士の交流につなげたい
			(外部評価) 地域の他事業所のお月見会に招待され、利用者とともに参加をされた。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 休日は要望に応じて、随時とれるよう、ストレス軽減に努力している。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 努めていると思います。		
<p><b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ソファ等、一緒に座り、傾聴に努めている。常時、不安点、訴えなどに気を配る。		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族の方とも、馴染みの関係を持ち何でも話してもらえるように工夫している。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) A D L 状態もふまえた上での支援に心掛けている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 馴染みのものを環境の中で自由に出すことができるよう、身の回りの品を充実させ信頼関係作りに努めている。 (外部評価) ご家族に頻りに訪問していただけるよう働きかけておられる。又、お正月等にご家族と一緒に過ごすため、外泊をされる方もおられる。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 出来ることは一緒に行なう。又は行なってもらい信頼関係を築いている。 (外部評価) 職員は、利用者から洋裁や掃除の仕方、畑の手入れの方法等を教えていただくことがある。		各分野の良さを引き出すよう、趣味、娯楽などにも気を配り、趣味を取り入れたレクを行なっていきたい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 散歩、病院への送迎、外出を行なってもらって本人と家族の絆を強めて頂いている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 居室での面会、雑談を可能な限り行なってもらっている。(お茶を飲みながら)		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 写真などを通して回想していただき、記憶回復向上が果たせるよう、質問を行い、関係継続、維持に努めている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 塗り絵、ラジオ体操、リハビリ体操等、行事への参加に努めている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 気軽に、でも決して慣れなれしくなくあいさつ(観察)を行なっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)  入所者の声を聴いて、聴いた事は記録するよう努めている。		
			(外部評価)		
			利用者との日々のかかわりの中から思い等を聞き、申し送りノートに記入し、職員で共有されている。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)  ファイル、カルテの見直し。家族の協力を求めている。生活歴や生活環境は割りと把握できていると思う。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)  介護記録、申し送り、その他の情報、観察を通して現状を把握するよう努力している。努めている。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)  本人、家族とは出来る時に話を聴いている。意見を聞き作成している。		
			(外部評価)		
			ご家族の希望とご本人の希望を踏まえ、その方の趣味等も採り入れた介護計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			本人の希望、意向を優先しながら現状に即した計画を作成している。		
			(外部評価)		
			介護計画についてのモニタリングを2ヶ月に1回行い、毎日、介護計画に沿った支援が出来ているかチェック表で確認をされている。退院時や嚥下状態の低下時等、利用者の状態に変化のあるような時には随時見直しを行っておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			記録の見直し、他のスタッフからの情報を総合的に判断し見直しに取り組んでいる。		もっと実践、介護計画の見直しに活かしていきたい
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			リハビリ体操、ラジオ体操を1日に1回ずつ行う。ボールを目で追い動態視力を養う。支援している。		
			(外部評価)		
			個別にお墓参りをされたり、ご自宅の換気を行いにつき添われることもある。又、ご家族の事情に合わせて病院受診の同行をされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 防火訓練、カルチャーセンター、学校のイベントに参加している。 中学校、幼稚園、高校のイベントには参加させてもらい、見学を楽しんでいる。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他のケアマネジャーと接する事が無い。 同じ事業所のケアマネや他の施設、GHのケアマネとは時々連絡をとり情報交換はしている。(CM)		今治市内での他の施設との交流なし、意見交換などの必要性ありと思う。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 2ヶ月に1回の運営推進会議に出席してもらい、色々な意見を聞いている。何かあれば相談したりしている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 主治医はかとう内科。症状に応じて、外科、整形、眼科、皮膚科など受診し適切な支援をおこなっている。  (外部評価) 利用者契約時に説明をされ、ご本人ご家族の納得のいく病院にかかることができるよう支援されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) Drへの上申は欠かさず行なっている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)  1ユニットごとに看護師が勤務し医療行為は看護師に委任。日常の健康管理や医療活用の支援をしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価)  入院時、まとめて報告、情報提供を行っている。判らないときはその都度、連絡を取るようになっている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)  家族、本人の意向を事前に聞き、Dr, スタッフ全員に申し送っている。  (外部評価)  看取りや終末期の対応について、利用者の重症時には協力医療機関で受け入れてくれるようになってきている。今後、事業所の対応について説明をされ「看取り介護についての同意書」をいただく予定となっていた。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)  出来ることから始めてもらっている。一部介助しながら見守り、全体で支援している。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)  食事の作り方、勧め方、ホームでの生活のあり方など報告を通してADL低下にならないよう気を配っている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			努めて、プライバシーを確保している。言葉を吟味しながら、選んで発言している。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者を傷付けない言葉かけに努めておられる。		さらに、管理者は、「利用者がどのように思っているか」ということを考えながらケアを行なっているか。」ということを日々振り返りながら、利用者とかかわっていきたくて考えておられる。
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			ゆっくり、きどらず、馴れ馴れしくならないように支援している。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			一人ひとりのペースに合わせたいが、できないときもある。		希望にそえるよう努力していきたい
			(外部評価)		
			昼食後、居室でテレビを観る方や外の景色を眺めながらラジオを聞いておられる方、昼食の片づけをされている方等がうかがえた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 買いたいものがあれば、職員と一緒にいき、楽しみながら選んでいる。散髪にいけない人は1ヶ月に1度訪問理容を利用してもらっている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 嫌いなものを把握し代替品を用意したりしている。出来ることは手伝っていただき、また、一緒に準備をしたり楽しく食事が出来る様に支援している。		一定の人が準備、片付けをされていることが多いので他の人にも参加できるよう取り組みたい。
			(外部評価) 週に1回、利用者のお好きなものをリクエストできる日を設けておられる。料理の下ごしらえや後片付け等されている様子がうかがえた。		食事は、職員1人が検食をされている。食事時の職員のかかわり方について「利用者が食事を楽しむ」という視点から工夫を重ねていかれることが期待される。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) タバコは禁止されているが、その他のものは好きなものを選んで自由にできる。		
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) オムツ、紙パンツ、布パンツなど、その人にあったものを使用し、日中はこえかけしてトイレ誘導している。		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			声かけをして、BTチェックをして気持ちよく入って頂けるようにしている。毎日でも入浴できる。(バスクリンなど使用) 毎日希望を聞き、無理に誘わないようにしている。		
			(外部評価)		
			毎日入浴できるよう準備をされている。希望に沿って夏場はシャワーで済まされる方もおられるが、冬場は、浴槽で温まれるよう支援されている。入浴を嫌がられる方には、他の利用者がすすめてくださることもある。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			定期的なシーツ交換、汚れたら適宜交換。体調によっては昼寝もして頂く。 数人は眠剤使用。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			散歩、外出、家事支援、レク、季節の行事に取り組んでいる。 出来ることを色々勧めるが、「したくない」「できない」「手が動かない」等と拒否される事もある。		
			(外部評価)		
			植物がお好きな方は、ベランダやお部屋に置かれ世話をされている。又、カラオケをされたり、法人代表者が電子ピアノを弾き、利用者の方が歌う等、コンサートを開かれ楽しまれた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			希望があれば、買い物等に同行している。 ミニ旅行や外出の際に携帯し買い物の支援を行なっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			出来るだけ希望にそえるように努力しているが出来ない時もある。		
			(外部評価)		
			日々の散歩や近所のマーケットへの買い物、畑の世話、地域の行事やドライブ等、外出の機会を多く設けておられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			5月にミニ旅行、4月は花見等の外出、11月頃ミニ旅行企画中、ドライブ等外出している。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			支援している。 電話のとり継ぎを行なっている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族は夜8時までならいつでも訪問できる。 気軽に来て頂けるよう工夫している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  身体拘束しないように努力しているが転落の恐れのある日とはベットの柵使用、家族の承認あり。はずす工夫もしている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  居室には鍵はかけていないが、玄関はオートロックになっているため入るのは自由だが出るのには暗証番号必要。  (外部評価)  玄関は、オートロックになっている。利用者によっては、ご自分で暗証番号を入力して外に出られ畑の水やりをされる方もある。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  本人了解のもと居室への立ち入り、様子観察を行なっている。なじみ		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  馴染みのあるものは側に置き、少しずつ様子をみている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  服薬は手渡し、見守りしている。 転倒は介助又は見守りしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  初期対応のマニュアルを貼っている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  隣の高校や中学校には協力の了解は得ているものの日頃からの地域への人々への働きかけはあまり出来ないと思われる。  (外部評価)  年に2回、避難訓練を実施されている。「火の用心」の張り紙を台所等に貼り、意識向上に努めておられる。又、避難経路の詳細を共有空間に掲示されている。		訓練を行い、夜間の対応の難しさを感じておられる。さらに、今後もいろいろな場面を想定し、利用者が安全に避難できるような方策を検討していかれることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価)  出来る限りしている。 家族への報告、希望など、来所時に聞く努力を行なっている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  伝達、申し送りを通して情報の共有、早期発見、対応に努めている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価)  時々、薬の種類の見直し、効用など新しい薬がでたら調べるようにしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価)  牛乳、ヤクルト、ヨーグルトなどの摂取、ラジオ体操、リハビリ体操で身体を動かしている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価)  毎食後、口腔ケアの声かけと共に一人で出来ない人には個々に応じて口腔内洗浄を努めておこなっている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)  身体の大きさ、体重にあわせてご飯の量を調節している。  (外部評価)  献立表を作成し、栄養士に見ていただくようにされている。いろいろな食材が摂取できるよう工夫されたり、食欲を高められるよう彩り等にも配慮されている。夜間も自由にお茶を飲むことができるよう、水筒を居室に置かれて方もあった。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価)  マスク、手袋、を常時おこなっている。手は2度洗い、陰部タオルは業者へ委託している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理用具等、清潔に心がけ、フキンは毎日消毒している。		
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 花、畑の栽培を通して近所との交流ある。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 掃除を毎日行い、清潔感があるようにしている。 手作りの物を飾ったりして工夫している。		
			(外部評価) 共用空間は、中庭があり、自然の光をふんだんに採り込めるようになっている。居室からベランダに出られるようになっている。		さらに、玄関に花を増やしていきたいと考えておられる。利用者が心地よく、馴染みやすいような環境作りへの取り組みが期待される。
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングにはソファ、1階の玄関前にはベンチが置いてある。中庭にも机と椅子が置いてある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			写真や置物やクッション、テレビ等好みのものを持ってきている。		
			(外部評価)		
			居室には、ご本人の写真入のカレンダーを飾っておられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			換気は努めて行い、空気入れ替えを朝、夕行なっている。 気温には気をつけている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			自由に館内を移動できる。必要に応じて車椅子、歩行器を貸し出している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			自信を落とさないような声掛けを行なうよう心掛けている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			布団を干したり、洗濯物を干したり、中庭での月行事、食事、喫茶などを楽しんでいる。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ②利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	情報の共有化、対応で
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	寄り添うケア、食事、外出
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全てに対して無理強いすることはしていない。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑い、泣き、喜びの顔みられる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	可能な限り全員外出している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	Drへの日々の連絡、毎日のバイタルチェックで異常の早期発見。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	出来る限り要望に応じている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	遠方の方とは月に1度位しか会えないので電話だけでは十分な信頼関係ができているかわからない。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 4 ほとんどない	以前、デイケアで一緒に行っていた人が時々来てくれている。



項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	関係者との面識があまりないがなるべく地域の行事などには参加するようにしている。
98 職員は、生き生きと働いている	(自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が ② 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	不安なことや心配ごとは話し合いで解決している。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	身体が自由がきかず悩む人もいる。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ① 1 ほぼ全ての家族等が ② 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	感謝の意を表す人。自立を希望する方。変化をみて喜ばれる方も多数あり。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

お好みメニュー 自分の食べたいものを取り入れる。 季節のものを取り入れた、カレンダー作り、食事、おやつ作りにとりくんでいる。